

記者発表資料

平成26年4月25日

建設部三陸道・大島架橋・唐桑最短道・
本吉バイパス整備促進課

担当：及川（内線566）

**三陸沿岸道路（本吉気仙沼道路）の開通見通しの公表に対する
市長コメントについて**

国土交通省から、三陸沿岸道路 本吉気仙沼道路の開通見通しが公表されたことに対する、市長コメントを別紙のとおりお知らせします。

関連する市震災復興計画重点事業
No.6 「三陸縦貫自動車道整備」

本日、国土交通省より、三陸沿岸道路の新たな開通見通しが公表され、当市の大谷 I C～気仙沼 I C については、平成 2 9 年度開通見通しとされました。

復興のリーディングプロジェクトである三陸沿岸道路の早期完成を願う当市として、一部区間の開通の見通しがついたことは大きな喜びであり、復興に弾みがつくものと思われます。国土交通省など関係機関のご尽力や、地権者など関係者のご理解に感謝いたします。

今後は、他区間においても事業が一層進捗して、早期に開通の見通しがつくことを期待するとともに、開通の更なる前倒しについても期待を寄せるものがあります。

なお、三陸沿岸道路の早期全線開通のため、安定的な財源の確保が不可欠であり、集中復興期間以降（平成 2 8 年度以降）も引き続き、通常の公共事業とは別枠で財源を確保することなどについて、関係市町等とも連携し、強く働きかけて参りたいと考えております。

平成 2 6 年 4 月 2 5 日

気仙沼市長 菅 原 茂